

フィリップ・ジョルダン(音楽監督) *Philippe Jordan, Music Director*



©Johannes Itzkowitz

現在、パリ国立オペラ座とウィーン交響楽団の首席指揮者を兼任しているフィリップ・ジョルダンは、同世代の中で最も才能に恵まれ、聴衆を熱くする指揮者の一人として確固たる地位を築いている。彼のキャリアは、1994/1995シーズンに、ウルム市立劇場のカベルマイスターとなったことに始まる。1998年から2001年までは、ベルリン国立歌劇場でダニエル・バレンボイムのアシスタントを務めた。2001年から2004年までは、グラーツ歌劇場とグラーツ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を務めた。この間、彼は世界中の一流オペラ・ハウスや音楽祭にデビューを果たした。主なものとしては、ヒューストン・グランド・オペラ、グラインドボーン音楽祭、エクサン・プロヴァンス音楽祭、ニューヨーク・メトロポリタン・オペラ、英国ロイヤル・オペラ・ハウス、ミラノ・スカラ座、ミュンヘン・バイエルン国立歌劇場、ザルツブルク音楽祭(《コジ・ファン・トゥッテ》)、ウィーン国立歌劇場、バーデン＝バーデン祝祭劇場(《タンホイザー》)、チューリッヒ歌劇場、バイロイト音楽祭(《パルジファル》)などである。2006年から2010年までは、ベルリン国立歌劇場の首席客演指揮者を務めた。これまでに共演したオーケストラとしては、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン国立歌劇場管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニア管弦楽団、マラー室内管弦楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団などがある。最近のCDとしては、ヴェルディの《レクイエム》と、ワーグナーの《ニーベルングの指環》からの抜粋(管弦楽作品集)の2つのアルバムがある。これらは、いずれもパリ国立歌劇場管弦楽団との共演で、エラート・レーベルからリリースされている。ウィーン交響楽団との録音では、これまでにチャイコフスキーの交響曲第6番《悲愴》(2014年9月にリリース)と、シューベルトの交響曲第7(8)番《未完成》と第8(9)番《グレート》(2015年8月にリリース)がある。

檜本大進(ヴァイオリン) *Daishin Kashimoto, Violin*



©Daishin Kashimoto

1979年ロンドン生まれ。1996年のブリッス・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。マゼール、小澤征爾、ヤンソンスなどの著名指揮者のもと、数々のオーケストラと共演。室内楽においても、クレメル、パシュメット、堤剛など世界有数のソリストと共演し、2007年には自ら音楽監督として「ル・ボン国際音楽祭～赤穂・姫路」を開始。2016年には第10回記念の東京公演を行い大成功を収めた。2010年ベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任。同団とは本拠地ベルリンほかで、音楽監督ラトルやネルソン指揮のもとソリストとしても共演している。2014年、ピアノのリフシツとのベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲CDボックスがワーナー・クラシックスより世界リリースされ高い評価を得た。2017年5月にはウィーン楽友協会でのウィーン・トーン・キュンストラ管定期演奏会に客演するほか、7月には台湾・日本・韓国・英国と4カ国にわたるリサイタルツアーを行う。使用楽器は1674年製アンドレア・グッネルリ。

ウィーン交響楽団 *Wiener Symphoniker*



©Andreas Balon

1900年10月、「ウィーン・コンサート・ソサエティ(ウィーン・コンツェルトフェライン)」という名称のもとに誕生したオーケストラは、フェルディナンド・レーヴェの指揮により、ウィーン楽友協会での初めての公演を行った。ウィーン交響楽団の歴史を通して、ブルーノ・ワルター、リヒャルト・シュトラウス、ヴィルヘルム・フルトヴェングラー、オズヴァルト・カバスタ、ジョージ・セル、ハンス・クナッパブッシュといった数々の巨匠たちが、同楽団に多大な影響を与えた。次の数十年間では、首席指揮者のヘルベルト・フォン・カラヤン(1950～60年)とヴォルフガング・サヴァリッシュ(1960～70年)が、オーケストラの音色作りにおいて最も重要な役割を果たした。その後、首席指揮者には、ヨーゼフ・クリップスが短期間ながらも再び就任し、カルロ・マリア・ジュリーニとゲンナジー・ロジェストヴェンスキーがそれを引き継いだ。ジョルジュ・ブレートルは1986年から91年まで首席指揮者を務め、それにラファエル・ブリュベック・デ・ブルゴス、ウラディーミル・フェドセエフ、そしてファビオ・ルイジが続いた。2014/2015シーズンの始めには、スイス人の指揮者、フィリップ・ジョルダンが首席指揮者に就任し、ウィーン交響楽団を新たな時代へ導いている。以来、同交響楽団は、主要な作曲家の作品、現代音楽、アーティスト・イン・レジデンスとのコラボレーション、熱心な音楽教育活動など、周期的にそれぞれのテーマに特に重点を置いた取り組みを行っている。ウィーン交響楽団は、1シーズンにつき150以上のコンサートやオペラ公演をこなしている。そのうちの大多数は、ウィーン楽友協会とウィーン・コンツェルトハウスという、有名なコンサート・ホールで行われており、これに加え、非常に内容が充実した広範囲におよぶツアーが行われている。

●学生券は、小～大学生等及び留学生本人様に限り、C席を表記料金にて販売するものです。お申込は、アクロス福岡チケットセンターに限り。また、購入に際しましては、学生証等が必要です。●車いすでお越しのお客様は、優先割引座席(4席)がございます。詳しくはアクロス福岡チケットセンターまでお問い合わせください。●小学校入学前のお子様の入場はできません。託児サービス(ご利用無料)を希望される方は、下記をご覧ください。●2階及び3階バルコニー席は、舞台が見えづらい場合がございます。ご了承ください。●諸事情により記載内容が変更になることがありますので、予めご了承ください。

Acros Club

アクロス友の会 会員募集中
福岡シンフォニーホールを中心に音楽・舞台芸術の公演を、皆様にいち早くお知らせし、より便利にご利用いただけるよう、数々の特典をそろえてご入会をお待ちしています。

メールマガジン会員募集中!

アクロス福岡主催公演やイベント情報の紹介、チケット発売情報などの最新情報を無料で配信いたします。ぜひ登録ください。

こちらから登録ください <http://www.acros.or.jp> スマホサイト登録ページ



託児サービスのご案内(ご利用無料)

託児サービス(生後4ヶ月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、下記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

(株)テノ. サポート (月～金曜日 9:00～18:00)

☎ 0120-8000-29 tel. 092-263-3580

アクロス福岡チケットセンター (10:00～18:00)

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 西館2F TEL.092-725-9112 FAX.092-725-9102 <http://www.acros.or.jp>

アクロス福岡

検索